

火災後に住居へ戻る際は 用心する。安全を確保する。健康を守る。



火災被害のなかったエリアでの灰の清掃

- 灰、すす、ほこり、その他の空気中の微粒子が、家や企業の中や外に堆積している場合があります。
- 山火事の灰は比較的毒性はないものの、皮膚や目、鼻、のどを刺激することがあります。
- 空気中の灰は、すでに喘息を持っている人の喘息発作を誘発する可能性があります。
- 灰、ほこり、瓦礫（特に焼失した建物から出るもの）には、アスベスト、ヒ素、鉛など、有毒で発ガン性のある化学物質が含まれている可能性があります。



- 子供を灰に覆われた場所や物で遊ばせてはいけません。
- 清掃中は、皮膚に触れないよう、**家庭用食器洗い用手袋、長袖シャツ、長ズボン**を着用してください。灰が皮膚に付着した場合はできるだけ早くぬるま湯と石鹸で洗い流してください。



- 割れ物（ガラス、金属、木材、石積みなど）を扱う場合は、切り傷、擦り傷、刺し傷から保護する手袋（革製またはケブラー製の手袋など）を着用してください。



- 灰やその他の浮遊粒子を吸い込まないように、N-95マスクかさらに効果の高い使い捨てマスクを清掃時に着用しましょう。しかしN-95マスクで気体を防ぐことはできません。これらのマスクはホームセンターで購入できます。**N-95マスクは、顔とマスクの間に隙間がないように適切にフィットさせなければいけません。**正しく着用されていないマスクは、つけていないのと同じです。

重要な注意事項:

- 適切な使用方法については、パッケージに記載されているラベルの指示に従ってください。
- 灰で覆われた場所に長時間いなければならない人は、ぴったりとフィットするN95マスクかそれ以上に効果の高いマスクを使用すると、曝露量を減らすことができます。
- N-95マスクは、特に肺や心臓に疾患のある人にとっては、呼吸が苦しくなる場合があります。



- 空中に灰を撒き散らさないようにしましょう。**リーフブロワーを使ってはいけません。**灰を空中にまき散らすような行為もしないでください。屋内および屋外の表面を**やさしく掃き掃除し、その後ウェットモップをかけるのが、灰の落ちている場所を清掃する最善の方法です。**必要であれば、漂白剤と水を混ぜた溶液で消毒することもできます。適切な使用方法については、容器のラベルをお読みください。



- 清掃作業により灰が空气中に放出されることが予想される場合、**また、化学洗浄液を使用する場合は、目に飛散するのを防ぐため、安全ゴーグル（保護メガネではない）を着用してください。**
- 清掃する場所に燃えカス（割れたガラス、金属、木材など）がある場合は、**安全靴またはつま先の隠れたハイトップのレザーシューズを履いてください。**



- **店舗用掃除機や普通の家庭用掃除機は、灰の掃除にはお勧めではありません。**これらの掃除機では、小さな粒子を取り除くことはできず、その代わりに粒子を空气中にまき散らし、それを吸い込んでしまいます。しかし、**HEPAフィルターの掃除機**であれば、小さな粒子を取り除くことができるため、使用することができます。
- 収集した灰は、後日ゴミ箱を空にする際に灰が空中に飛散するのを防ぐため、**最初にビニール製のゴミ袋に入れてから通常のゴミ箱に捨てる**ことができます。
- 灰のある場所を頻繁に出入りする際は、一日を通じて定期的にシャワーを浴びてください。

火災後の水の安全性について

住人の皆さんに、水道水の安全性について常に最新情報を得ることが推奨されています。火災発生時の対応のため、**水道水に関する危険警告**

「**Unsafe Water Notices**」（沸騰勧告、飲用禁止、使用禁止、飲用禁止・沸騰禁止）が出されていることがあります。

お住まいの地域に関する「水道水に関する危険警告」や勧告を定期的にご確認ください。安全に水道水を使用するためには:

- 地域の水道システムのウェブサイトをご覧になるか、カスタマーサービスまでお問い合わせください。
- 水道水に関する危険警告の指示に従ってください。



被害を受けた地域の方々は、ペットボトルの水を使用してください。水道水に関する危険警告が解除され、通常の水道サービスが再開された場合は、水が透明になるまでお湯と水を流し続けてください。

お住まいの地域の水道水に関する警告の詳細については、<https://lacounty.gov/emergency/>の「水道水に関する警告」のセクションをご覧ください。

火災後の野生動物

山火事によって避難した野生動物が、敷地や家に入り込むことがあります。ゴミや瓦礫が溜まっている場所には、野生動物が集まってくることがあります。

- ゴミはネズミが入れない容器に入れ、動物を寄せ付けないように密閉してください。
- ペットの餌を屋外に放置してはいけません。
- ネズミや野生動物が寝たり、隠れたり、餌を見つけたりできそうな場所をチェックし、可能であればその場所を密閉してください。
- このような場所を掃除するときは、手袋とマスクをして身を守りましょう。終わったら手を洗ってください。



停電後の食品の安全性について



長時間の停電が続くと、食品の安全性が問題になることがあります。停電を経験したり、台所に灰、すす、ほこり、その他の空気中の微粒子が付着している可能性があります。**食中毒を避けるために、以下の推奨事項に従ってください:**

- 異臭がしたり、腐敗の兆候がある食品・飲料はすべて捨ててください。最善の方法は「**疑わしきは捨てる**」です。
- 一般的に、停電が**4時間以内**、および冷蔵庫のドアが閉じたままの状態であれば、冷蔵庫内の食品は安全であると考えられます。停電中、冷蔵庫と冷凍庫の扉を開けずに可能な限り低温を保てば、食品を数時間冷蔵庫で保存することができます。
- 停電が4時間以上続く場合や 冷蔵庫のドアが閉まっていなかった場合は、肉や乳製品、卵などの**生鮮食品を捨てる**のが賢明です。
- 冷凍庫で解凍したものは捨てましょう。**解凍した食品を再冷凍しないでください**。その他の食品は、安全を確認するために点検してください。
- 灰が付着している場合、液体（例：水）の入ったペットボトルは、捨ててください。ペットボトルを洗い流すだけでは**不十分**で、灰の粒子がキャップを汚染し、除染が非常に困難になるためです。
- 防水または密閉容器に保存されておらず、灰が付着している食品は廃棄する必要があります。これには、段ボールなどの柔らかい包装で保存されていた製品も含まれます。
- ベビーフードなど、密封され、未開封のガラスや金属の缶や瓶に保存されている食品は、安全に使用できるはずですが、開封前に洗浄し、食べる前に中身を別の容器に移し替えてください。
- **食品はゴミ袋に入れ、しっかり密封してから放棄してください**。コバエの繁殖を防ぐため、袋を二重にすることをお勧めします。